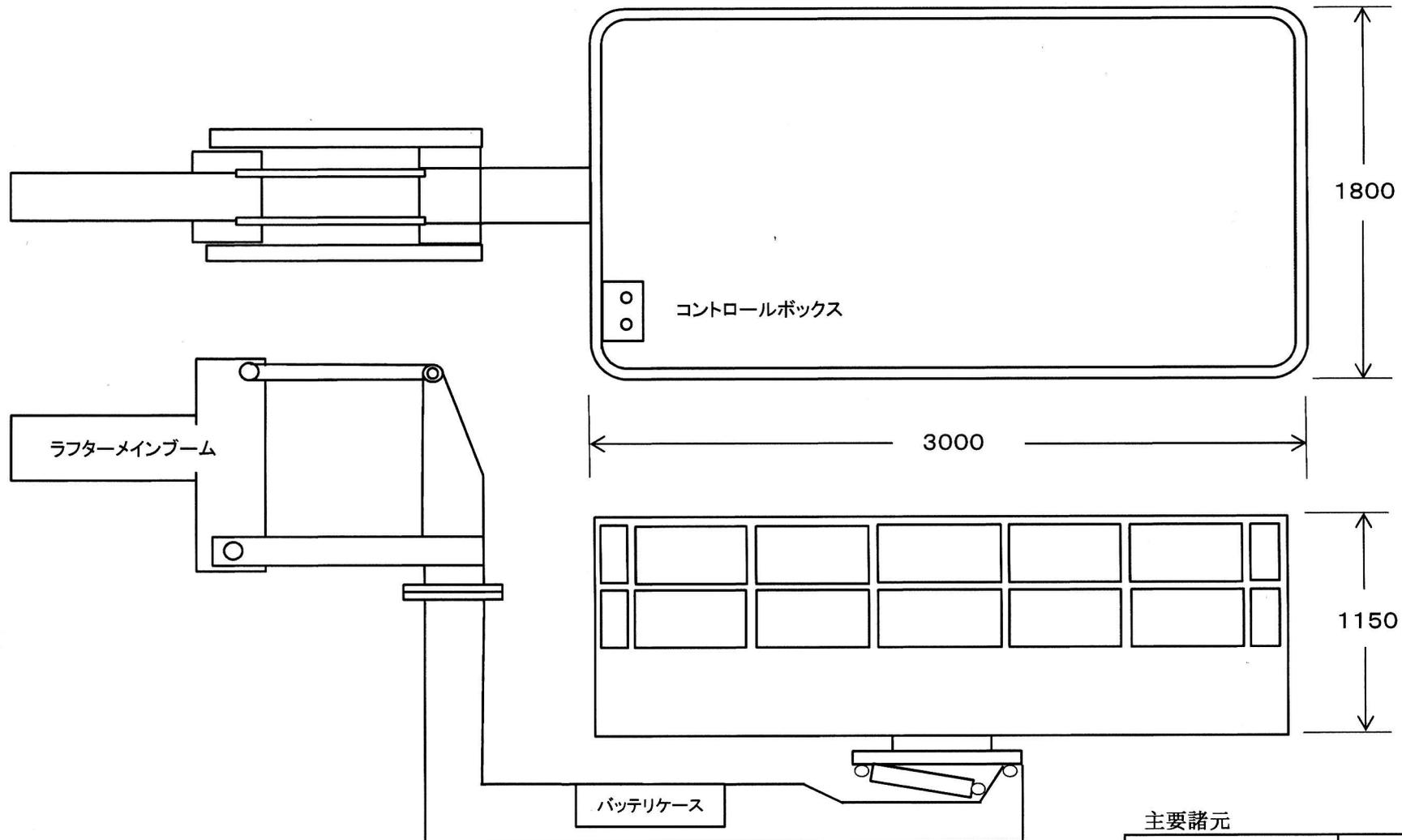


SKYBOX SS-300

ラフタークレーンメインブーム取付



取扱い及び注意事項

1. 搭乗する作業員はハーネス型の安全帯を使用してデッキからの転落を防止すること
2. 搭乗者はオペレーターと緊密に無線連絡をとって明確にクレーン操作の指示をすること
3. 搭乗者は押しボタンスイッチでデッキの回転をさせます

禁止事項 スカイボックスは現場作業用です 観覧用に一般市民を搭乗させることは禁止です
(手摺の取り外しタイプもあり危険です)

主要諸元

型 式	SKYBOX SS-300
寸 法	縦3.0m 横1.8m 高さ1.0m
積載荷重	均等荷重 1.000kg
材 質	鋼管フレーム
本体荷重	1.300Kg
駆動電源	バッテリー 24V
水平維持機構	振り式傾斜計
旋回範囲	180°

移動式クレーン装着型搭乗設備 スカイボックス使用上の注意

スカイボックス使用に関する労働省労働基準局安全衛生部安全課の見解 平成5年9月

1. 現行では、使ってもやむを得ないが、ML(モーメントリミッタ)付き高所作業車がかなり普及しているので、それに対応出来ない作業についての限定使用を望む。
2. とう乗設備ととう乗者との総重量の1.3倍に相当する重量に500キログラムを加えた値が、当該移動式クレーンの定格荷重をこえないこと。
3. とう乗者についての資格要件は特にない。

スカイボックス使用に関する厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課の見解 平成19年8月

1. 高さ31mを超える工事において、建設、解体、主要構造部分を変更する工事においては届出の対象となるが、それ以外の工事については届出の対象とはならない。
2. 計画をたてて実施する大掛かりな建設工事ではなく、2～3日の軽微な補修作業は届出の対象とならない。
以上は建設業の許可を取得している事業者に対する適応となる。
3. その他の例
 - 50m上空の建物での窓等の部品を交換するために、作業を行う場合も届出の対象とならない。
 - 所有者が建物、設備等の31m以上の高所での作業を実施する場合も届出の対象とならない。
 - イベントなどで、上空から撮影する場合も届出の対象とならない。
 - 風力発電機等のメンテナンスも届出の対象とならない。

省令には、はっきりと制限できる理由も明記されていないが、使用できるともはっきりとは読み取れないため、現実には書類を提出されても上記の理由で判断に困るので書類を出されると逆に厳しく判断して回答せざるを得ないため、必要のない工事に関しては書類を出されると困る。

各担当エリア(所轄の監督署)での判断によることになるため、使用許可に合否が分かっていると考えられる。

以上の厚労省(本省)の見解をもとにされて、使用許可の書類の届出をするかどうかを判断して頂きたいと思います。

スカイボックス株式会社